

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度（2020年度）		授業科目	歴史Ⅰ
科目基礎情報						
科目番号	0008		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子情報工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『新詳世界史B』帝国書院					
担当教員	市嶋 聡之					
到達目標						
異文化理解を深める。各地域・各時代の政治支配構造、社会経済構造、宗教などを理解する。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		先史・古代の歴史的知識を獲得した上で、自分なりに社会的事象を考察し、論ずることができる。	先史・古代の歴史的知識を獲得した上で、自分なりに社会的事象を考察できる。		先史・古代の歴史的知識を獲得することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
MCCコア科目 ディプロマポリシー 3						
教育方法等						
概要	（１）目標 前近代の政治・経済・宗教・文化など学ぶことを通して、社会の有為な形成者として必要な歴史的教養（歴史的な知識や物の見方・考え方）を身につける。 （２）概要 1年次では、前近代の世界史を学んでいくが、古代文明の時代を中心に扱っていく。教科書の内容を均等に進めるのではなく、特定のテーマを深く掘り下げて考察していく。					
授業の進め方・方法	授業担当教員単独実施による講義。					
注意点	評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	はじめに		ガイダンス（年間日程とシラバスの説明） 歴史を学ぶ意義について、気候変動と歴史	
		2週	先史時代Ⅰ		人類の出現	
		3週	先史時代Ⅱ		農耕・牧畜の始まり	
		4週	先史時代Ⅲ		文明の誕生（先史から歴史時代へ）	
		5週	オリエント世界と古代文明の成立Ⅰ		オリエント世界・地中海世界の風土と人文事象	
		6週	オリエント世界と古代文明の成立Ⅱ		メソポタミア文明	
		7週	オリエント世界と古代文明の成立Ⅲ		エジプト文明	
		8週	オリエント世界と古代文明の成立Ⅳ		セム系諸民族の興隆、ユダヤ教、ペルシアによるオリエント統一	
	2ndQ	9週	前期中間試験		これまでの学習内容の確認	
		10週	地中海世界の形成と古代ギリシアⅠ		エーゲ文明	
		11週	地中海世界の形成と古代ギリシアⅡ		ポリスの形成	
		12週	地中海世界の形成と古代ギリシアⅢ		スパルタとアテネ	
		13週	地中海世界の形成と古代ギリシアⅣ 成長と古代ローマⅠ		古代ギリシア文化	
		14週	地中海世界とオリエント世界の融合Ⅰ		ペルシア戦争、デロス同盟とペロポネソス同盟	
		15週	期末試験		前期中間試験以降の学習内容の確認	
		16週	地中海世界とオリエント世界の融合Ⅱ		アレクサンドロスの遠征、ヘレニズム文化	
後期	3rdQ	1週	地中海世界の成長と古代ローマⅠ		共和政ローマ、ポエニ戦争	
		2週	地中海世界の成長と古代ローマⅡ		ローマ帝国の成立と繁栄	
		3週	地中海世界の成長と古代ローマⅢ		ローマ帝国の衰退と分裂	
		4週	地中海世界の成長と古代ローマⅣ		キリスト教の成立と発展	
		5週	地中海世界の成長と古代ローマⅤ		古代ローマ文化	
		6週	アジアの古代文明Ⅰ		南アジア世界、インダス文明	
		7週	アジアの古代文明Ⅱ		古代インドの文化と宗教、東南アジア世界	
		8週	後期中間試験		16回から22回の学習内容の確認、	
	4thQ	9週	アジアの古代文明Ⅲ		中華文明の形成	
		10週	アジアの古代文明Ⅳ		秦漢帝国と東アジア	
		11週	東アジア世界の変動と再編Ⅰ		中国の分裂（三国時代、南北朝時代）	
		12週	東アジア世界の変動と再編Ⅱ		東アジア世界の変動（朝鮮や日本の国家形成、隋・唐の中国再統一）	
		13週	イスラーム世界の形成と拡大Ⅰ		イスラーム文明の誕生	
		14週	イスラーム世界の形成と拡大Ⅱ		イスラーム世界の拡大	
		15週	期末試験		中間試験以降の学習の確認	
		16週	成績評価・確認		授業評価アンケートの実施 成績評価・確認	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3		
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20